

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	加須市農業振興ビジョン推進会議
開催日時	令和5年8月4日（金） 10時30分から11時35分まで
開催場所	加須保健センター2階 集団指導室
議長氏名	副委員長 山中 哲大
出席委員	山中 哲大 委員 柳田 浩 委員 佐久間 尉匡 委員 関和 枝美子 委員 眞中 紀 委員(代理) 松井 弘文 委員 下山 房巳 委員 黒川 正美 委員 藤原 豊 委員 出口 朱輝 委員 (10名)
欠席委員	小川 達男 委員 角田 大輔 委員 島田 和男 委員 矢島 久史 委員 (4名)
会議次第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員長・副委員長の選任 5 委員長・副委員長あいさつ 6 委員・事務局の紹介 7 議 事 ・第2次加須市農業振興ビジョン令和4年度実施状況 について 8 閉 会
会議資料 の名称	【資料1】加須市農業振興ビジョン推進会議設置要綱 【資料2】加須市農業振興ビジョン推進会議委員名簿 【資料3】評価基準 【資料4】令和4年度進行管理調書のまとめ 【資料5】令和4年度取組結果表 令和4年度進行管理調書（実施状況報告書）
会議の公開又 は非公開の別	公開
非公開の理由	—

傍聴者の数	0人
説明者の 職・氏名	経済部長 駒宮 敏之 農業振興課長 野中 裕
事務局職員 職・氏名	経済部副部長兼産業振興課長 橋本 敬之 農業委員会事務局 次長 前島 勝己 騎西総合支所農政建設課長 松永 功 北川辺総合支所農政建設課長 長塚 可也 大利根総合支所農政建設課長 大熊 治義 経済部農業振興課 主幹 松井 善人 経済部農業振興課 主任 多田 貴晴
会議録の 作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要 な事項	—

様式第 3 号 (第 8 条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
松井主幹 (事務局)	<p>1 開会 会議の公開及び公表説明</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 委員長・副委員長の選任 委員長は小川委員、副委員長は山中委員</p> <p>5 副委員長あいさつ</p> <p>6 委員・事務局の紹介</p> <p>～市長、他の公務により退出～</p>
山中副委員長	<p>7 議事 はじめに、次第の議事 第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 4 年度実施状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
野中課長	<p>第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 4 年度実施状況について説明</p>
山中副委員長	<p>ただいまの事務局から説明の説明について、皆さんからの御意見・御質問はございますか。</p>
藤原委員	<p>私から 2 点質問させていただきます。</p> <p>1-2-2 の農業水利施設の老朽化に対する保全・整備という具体的な取組につきまして、成果指標の多面的機能支払交付金では水利施設の老朽化に対する整備は行わないと思うので、指標と乖離しているのではないのかと感じました。</p> <p>市が管理する農業用排水路は、令和 4 年度中にどの程度整備されているのか。特に大利根地域の程度が酷いため、実際に手を掛けているのか伺います。</p> <p>4-4-1 の商工業との連携ということですが、実績として 36 回企業訪問されているということですが、このうち農業振興に関わっている企業がどれくらいあったのか伺います。</p>
駒宮部長	<p>1 点目は、成果指標が適切なかどうかということだと</p>

と思いますが、農業水利施設の老朽化に対する保全・整備の取組項目と、維持管理、水路の草刈りの実施といった趣旨の多面的機能支払交付金補助対象面積という今の指標は、少し趣旨がずれているかと思われまますので、指標を直せるかどうかは別として検討したいと思ひます。

水路の改修をどれくらいやっているのかということについては、自治会要望で受けた要望に対して改修できたところは修繕等を行っております。但し、どれくらいだったのかというものは、都市整備部で集計をやっているか否かを確認しないと分かりません。

橋本副部長
兼産業振興
課長

企業訪問の趣旨は、企業に赴いて市の農業生産物等を企業にPRするためのものではなくて、企業を訪問し市に要望したいことなど、直接お話を伺いながら確認するものとなります。

下山委員

基本方針3の新規就農者後継者育成や新規就農者の包括的支援など、加須市の立地条件に合ったお米だとか、米麦に関しては大変よくできているなというふうに感じておりますが、指数が低すぎるということと、3年後、5年後には後継者もいなくなるし、農業自体がどうなっていくかといったところで、市は施設園芸に関して、どのように考えているのか伺います。

野中課長

新規就農につきましては、随時相談を受け、就農に結びつけております。件数が少ないという御指摘がございましたが、増やしていく方向で調整させていただきたいと思っております。

施設園芸に対しましては、昨年度等物価高騰などに関する支援をさせていただいたり、団体への補助等をさせていただいているところです。

駒宮部長

施設園芸も同じ農業として、振興を図っていくことは、米と同様に考えております。そういった中で、新規就農についても同じように支援してまいりたいと考えております。

下山委員

新規就農ということはよく聞きますが、現に農業をやっている後継者に対しては、どのようにお考えでしょうか。

駒宮部長

全くの新規と同様に、最近では今いる後継者の方に対する国の補助事業もございます。そういったことを活用しながら、大変コストが上がっている中で、後継者の収入に対しても非常に注視していきたいということと、物価高騰の

中の支援ということだと思いますが、国や県の事業を活用してより効果が出るように、県と連携して周知を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。

下山委員

県と国と市で補助金があるということならば、そういった相談を聞いてもらえるような方向で願いたいと思います。

野中課長

新規就農等の御相談があった場合や継承された方の御相談があった場合ですが、後継者の方も新規就農と同じように国や県の補助メニューに入っており、補助を受けられる方もおります。相談のあった新規就農の方への補助メニューにつきましては、相談の中で提案させていただきまして、当該年度の申請に間に合えば、補助の方に結びつけさせていただきます。昨年度から今年度にかけて、新規就農者は6名で、このうち、そういった補助を活用したいという手をあげた3名とも今年度に予算がつき、機械の購入等に繋げることができました。この3名中の1名は、後継者の方であり、そういった支援をさせていただいております。

相談等の機会を通じて、こういった制度があるという案内をさせていただきたいと思います。

下山委員

県と国の補助金をもらうときにハードルがかなり高くなっていて、中々そのハードルを越えられないという現状ですが、これだけ農業後継者がいなくなった時点で、そのハードルを上げる必要があるのか、もっと下げて使い易くした方がよいのではないのかとっております。

野中課長

若手の農業者団体が各地域にございますが、以前の市長と語るタウンミーティングの中で、補助制度などの情報が自分たちのところへ中々届かないであるとか、農協や県に聞かないと分からないという話があったことから、そういった情報を発信する取り組みを始めました。先日、集まらせていただいて組織を立ち上げ、今始めようと思っっているのは、県、市、農協の情報を取りまとめ、若い人なので、ツイッターで情報を発信し、それを見てもらって、関心がある人はその情報に繋がるようにしていくというような取り組みを進めてまいりたいと考えております。

山中副委員長

経営者不足、担い手不足というのは、5年後、10年後にどうなってしまうのだろうかと思っております。何か勉強会のような取り組みや、先ほどの補助金などを活用するといったことがあってもよいのではないかとように思います。

松井委員

新規の若い人の団体の方へ情報が行っても、そこから漏れる農業後継者もいると思いますので、そういった方への周知ができるように対策していただきたいと思います。

野中課長

御説明させていただきました取組につきましては、若手の団体の方から始めるのですが、うまく軌道に乗りましたらツイッターは誰でも見られますことから、そういった方にも情報発信できるよう広げてまいりたいと考えておりますので、少しお時間をいただきたいと思います。

山中副委員長

基本方針の2-1の中川上流の件について、進捗がどれくらいなのか県の農村整備部の方もいらっしゃるのでお聞きしたいと思います。

野中課長

月に1回くらいのペースで、羽生市、加須市、久喜市、幸手市の課長級の職員が集まって会議を開いております。国、県の補助をいただきながら、市の方も40億円の事業費を負担する話でございます。非常に大きな話であり、これまでの調整の中で、60億円から40億円に圧縮されてきて、加須市としてはいけるのではないかと考えているところでございます。構成市の中で、もう少し何とかならないのかというようなところもあり、事業費的な部分や今後の管理体制などを詰めているところでございまして、もう少し時間が必要な状況でございます。

出口委員

費用負担の面で困難があることは国の方でも考えてくださっていて、色々なプランを持っておられるようなのですが、情報が来ていないところもあります。この1年くらいで全体実施設計という段階に進めるかどうかの判断になるというところです。国が始まってからは、それほど時間はかからないと思います。

山中副委員長

ゲリラ豪雨で今年2回、子実用コーンを蒔いた畑が冠水し蒔き直しをしました。中川の水が引かず、30センチ程度の水が2日間くらい滞留していました。

この事業が早く進めば、畑作としてはよいと思っておりますので、期待しております。

佐久間委員

重油の補助金をいただいており非常に助かりましたが、1回と言わず何回かいただければありがたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

野中課長

市といたしましても、物価高騰により燃油もそうですし、国、県の補助制度などをうまく活用しながら補助させていただき、今年は水利組合の方で水を汲み上げる電気代の補助をつけさせていただきました。飼料の関係とか、その都度、国県等の補助等も生かしながら、考えてまいりたいと考えております。

下山委員

燃料の関係で補助金をいただきましたが、一律ではなく使用量に換算して配ってもらえないのかと思いましたが、作物によっては、大して使わないのに同じ金額というのは、どのような考えで算出したのかと思っておりました。単純に農協の本店に聞けば、各農家の使用量は全部でているので、それに合わせて配布してくればよかったですと思います。かえって儲かった人もいれば、雀の涙という人もいるので、検討していただければと思います。

野中課長

前年と当該年度の総額の差額の2分の1というかたちで出させていただいたところですが、一律ではなかったと思いますが、その辺の制度の詰め方ということもあると思いますので、今回の電気料金については、前年度と今年度の差額をしっかりと出してもらって、その半分というかたちにさせていただいております。今後も不公平のないような制度設計を考えてまいりたいと思います。

関和委員

私が嫁いでから50年近くきゅうり栽培をやってきて、もう去年、一昨年に卒業しました。朝起きて夜まで、自分の作業時間がたっぷりあり、こういう世界があるんだなと感じました。家族でやらないと利益が出ないので頑張ってきました。

出口委員

基本方針1のところでは、計画どおり達成できたというところに大体入っていて、加須市は、施設整備、維持管理、ほ場整備、大区画化ということも積極的に取り組んでおられており、そこが成果に出ていると感じました。

ほ場整備の公社営の事業で区画拡大を進めておられますが、県農林公社と情報交換をさせてもらっている中で全県から出ている要望をこなしきれない状況から、少し溜まっているとの話を伺っています。加須農林振興センターでは、来年度2地区、再来年度1地区のほ場整備が完了いたしますと、今動いている県営ほ場整備が終わるので、加須市から事業をあげていただくと取り組みやすいと思っておりますので、御検討いただければと思います。

他の委員さんから出ていた話の中で、施設園芸の担い手の育成についてございましたが、私の聞きかじりですが、

全農がトレーニングセンターというものを全国に何箇所か作るということで動いておられているようでございまして、10ヘクタールくらいのハウスを作り、その中を1ヘクタールごとに区切って経営者を育成するという計画のようなのですが、そういったところで育った人を加須市に誘致するなどを考えてみても面白いのかなと思います。

また、羽生市ではチャレンジファームというものを作って、大きなハウスを建ててやっておりますが、そこで経験した方が新たに自分の場所をつくるということにまでは行き着いてはいないようです。大きな農地改良を市の指導により実施し、その施設で育てていくような視点もあるとよいのかなと思いました。

野中課長

先ほど説明いたしました機構営の方は、概ね3年くらいで土地の整備ができることから、加須市としては早いプランでできることを主体で考えておりました。県営の方はしっかりやるので、基礎調査に2年をかけ、その後の3年で一つの場所に5年かかるというところがあるため、早くできる方法をやらせていただいております。初めの頃は他市町村の希望がなかったので結構優先的にやっていたのですが、今は大分希望があるため加須農林振興センターとの相談の中で県営の方が空いてくるのではないのかというお話をいただいておりますことから、これまでのスピードアップの方針だけではなく、これらを併用することを考えているところでございます。

山中副委員長

私は樋遣川地区でもやっているのですが、昭和のまま進化していないほ場で、トラクターが落ちてしまうくらい道が狭いところがあるため、埼玉型を利用しながらそういったところを進めていただければ、耕作者のやる気が出るのではないだろうかと思います。

本日予定した議事につきましては、全て終了いたしました。皆様の御協力により議事がスムーズに進行いたしましたことに御礼を申し上げ、議長の役を解かせていただきます。

松井主幹

8 閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注)

令和 5 年 8 月 9 日

署名

山中 哲夫

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。